

令和2年度評価版



®環境省

エコアクション21
認証番号 0010311

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間: 2020年04月01日～2021年03月31日)



公益社団法人 徳島県環境技術センター

発行日: 2021年09月13日

- P 1 環境経営方針
- P 2 組織概要及び認証・登録の対象範囲
- P 3 エコアクション21の取組実施体制図
- P 4 環境経営目標及びその実績
- P 5 環境経営計画及び
取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 5 ……温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減
 - ・電力使用量を削減する
 - ・ガソリン使用量を削減する
 - 6 ……廃棄物の削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進
 - ・一般廃棄物を削減する
 - 6 ……水資源の節水
 - ・水使用量を削減する
 - 7 ……浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進
 - ・啓発活動・環境学習等実施 (P10: 各種環境保全活動・イベント等)
 - 7 ……県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動
 - ・浄化槽教室における受講率
 - 8 ……化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理
 - 9 ……各支所での取組み
- P 10 各種環境保全活動・イベント等
- P 25 主な環境負荷の実績と当年度の目標達成状況
- … 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無
- P 26 代表者による全体の評価と見直し

基本理念

私たち公益社団法人徳島県環境技術センターは、徳島県における唯一の浄化槽指定検査機関として、県民への浄化槽に関する正しい知識の普及、法定検査の受検促進とともに、水環境保全事業活動を通じ、水環境問題及び限りある資源の保護に積極的に取り組み、豊かな経験と確かな技術で「徳島県の美しい水環境」を次の世代へ引き継いでいくことを理念としております。

そして、この理念のもと全職員が一丸となって環境負荷の継続的な軽減に取り組むことで地球環境を保全し地域社会に貢献します。

行動指針

1. 私たちは次の事項について環境経営目標、環境経営計画を立て継続的な改善に努めます。
 - 1) 県民への浄化槽に関する正しい知識の普及
 - 2) 法定検査の受検促進
 - 3) 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減
 - 4) 廃棄物の削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進
 - 5) 水資源の節水
 - 6) 化学物質の適正管理
2. 私たちは環境関連法規等を遵守します。
3. 私たちは環境への取り組みを環境経営レポートとしてまとめ公表します。

公益社団法人

徳島県環境技術センター

会長 田村 茂人

制定日： 2018年4月1日

改定日： 2020年5月27日

◆ 組織概要及び認証・登録の対象範囲

◆ 名称及び代表者名

公益社団法人 徳島県環境技術センター 会長 田村 茂人

◆ 環境管理責任者及び苦情等担当者連絡先

環境管理責任者 杵保 恭章
苦情等担当者 黒川 裕文 新川 学

連絡先 088-636-1234

◆ 認証等について

認証・登録番号	0010311	更新・登録日	2020年11月25日
認証・登録日	2014年11月25日	有効期限	2022年11月24日

◆ 所在地及び対象事業所

検査センター(事務局) 〒770-8001 徳島市津田海岸町2番33号
TEL:088-636-1234(代) FAX:088-636-1122

各支所

徳島(徳島事務所) 徳島市新蔵町3丁目80番地 徳島保健所庁舎3階

阿南 阿南市領家町野神319 (南部総合県民局 保健福祉環境部阿南庁舎内)

阿北 吉野川市鴨島町字鴨島106-2(吉野川保健所内)

美馬 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73 (西部総合県民局 美馬庁舎内)

◆ 事業内容及び事業活動範囲(全組織・全活動)

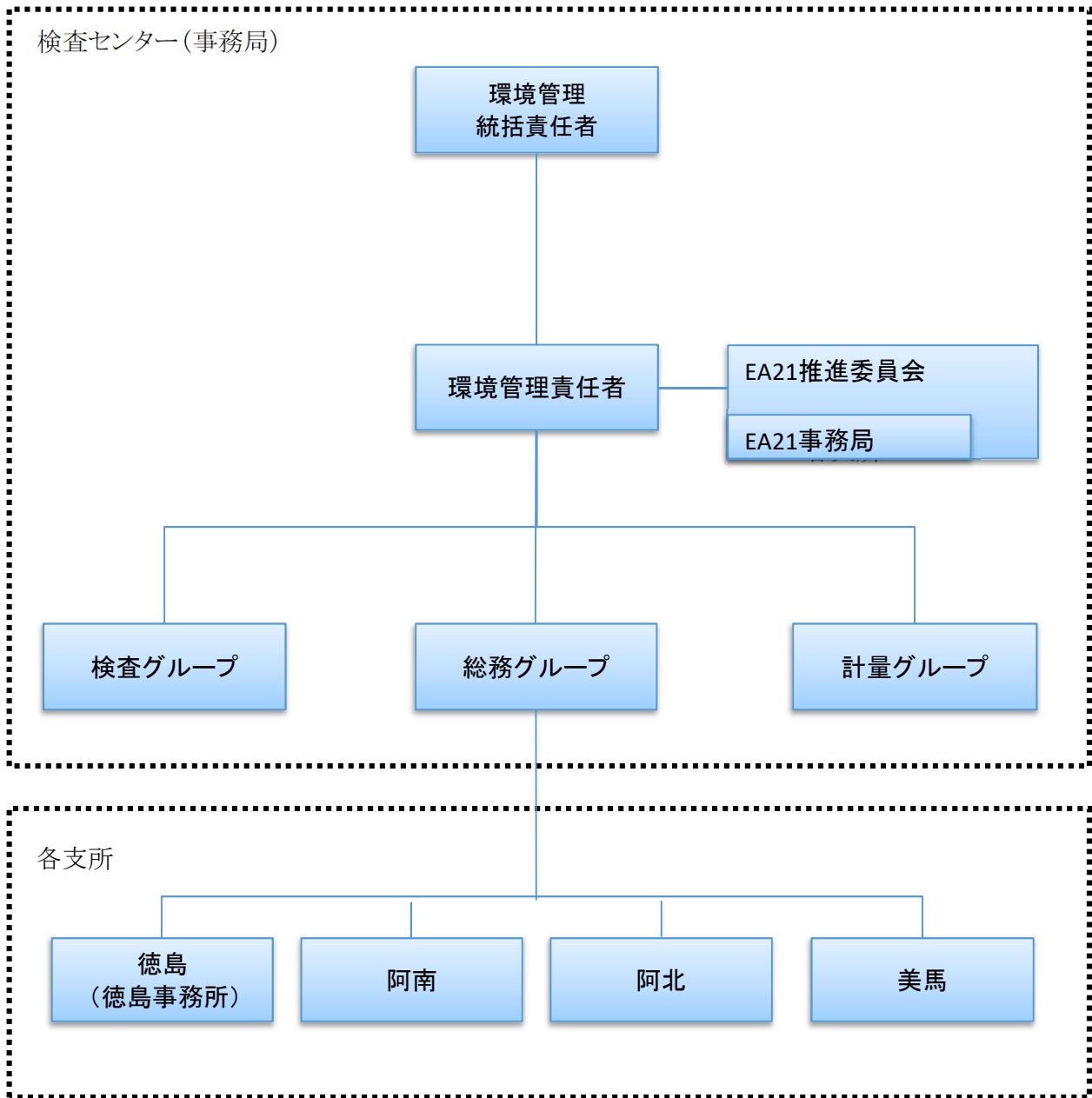
- ・浄化槽の法定検査事業
- ・濃度計量証明事業
- ・浄化槽普及啓発・講習会・環境広報活動

事業年度 4月～3月

事業規模 売上 541 百万円 (令和3年3月期)

従業員数 74 人

◆ エコアクション21の取組実施体制図



環境経営目標及びその実績

項目 環境経営方針と整合	年度	基準値 (2017年度)	中期目標					
			2018年度		2019年度		2020年度	
			基準年度	目標	実績	目標	実績	目標
《定量化できる項目》								
二酸化炭素を削減する。 調整後排出係数 0.500 kg-CO₂/kWh (ミツウロコヴェッセル)	kg-CO ₂	327,090	323,819	310,911	320,548	320,175	317,277	314,398
		2017年	-1.0%	-4.9%	-2.0%	-0.1%	-3.0%	-0.9%
電力使用量を削減する。	kWh	300,279	297,276	305,014	294,273	348,581	291,271	343,757
		2017年	-1.0%	1.6%	-2.0%	18.5%	-3.0%	18.0%
ガソリン使用量を削減する。	L	69,278	68,585	67,955	67,892	62,622	67,199	61,214
		2017年度	-1.0%	-1.9%	-2.0%	-7.8%	-3.0%	-8.9%
一般廃棄物を削減する。	kg	6,256	6,193	5,519	6,131	5,664	6,068	5,499
		2017年	-1.0%	-11.8%	-2.0%	-7.6%	-3.0%	-9.4%
水使用量を削減する。	m ³	1,781	1,763	1,789	1,745	1,774	1,728	1,900
		2017年	-1.0%	0.4%	-2.0%	1.6%	-3.0%	10.0%
《定性的項目》								
浄化槽法定検査(11条)の 受検率向上の推進 (啓発活動・環境学習等実施)	回	50	50	48	50	44	50	36
		2017年	+0.0%	-4.0%	+0.0%	-12.0%	+0.0%	-28.0%
県民への浄化槽に関する 正しい知識の普及活動 (浄化槽教室受講率)	%	62.5%	63.5%	61.0%	64.5%	49.8%	65.5%	66.3%
		2017年	+1.0%	-1.5%	+2.0%	-22.8%	+3.0%	1.2%

※目標は基準年度比により算出しております。

※化学物質使用量・産業廃棄物排出量について

当事業所は、水質分析業務に化学物質を使用していますが、公定法に基づき分析を行っているため、化学物質の使用量は決められた量となります。したがって、化学物質の使用量については、削減目標を掲げるのは困難と判断し、環境目標項目に入れておりません。

また、当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

※2018年度見直しにより、「グリーン購入の推進」を除外しました。

※2018年度評価はガイドライン2017改定版とし、2017年度を基準年度とした新たな3カ年を中期目標とします。

また、二酸化炭素の削減に関しては、目標を視覚化するため、電気使用量、ガソリン使用量とします。

◇「ガソリン使用に伴う二酸化炭素の削減」 ・kg-CO₂ ⇒ L

◇「電力使用に伴う二酸化炭素の削減」 ・kg-CO₂ ⇒ kWh

※2018年度見直しにより、下記の環境目標の評価指標を下記へ変更します。

◇「県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動」

・浄化槽教室開催数 ⇒ 浄化槽教室受講率 浄化槽教室受講者数/浄化槽設置申請数(届出書/計画書)

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

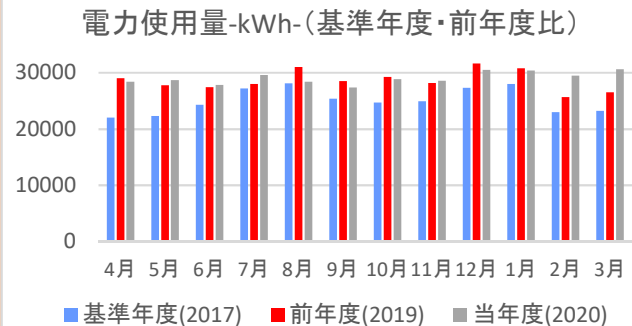
温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減

【環境経営目標】電力使用量を削減する。2017年度を基準として、2020年度内に3%削減。

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・必要な区域・時間帯のみでの空調	○	取組継続
・空調の適温化（夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃）	○	取組継続
・OA機器の省電力設定	○	取組継続
・照明の不要時消灯	○	取組継続
・クール/ウォームビズの実施	○	取組継続
・ブラインド等での熱の出入調整	○	取組継続
・エレベーターの使用方法的励行	○	取組継続

取組結果とその評価

- ・クールビズ/ウォームビズの実施や、空調の適温化など適切に取り組んでいます。
- ・年度を通して、コロナ禍での取り組みとなり、通年で空気清浄機や、サーマルカメラの常用が必要となり、運用の環境面が変化しつつある。
- ・次年度は基準年度含め、中期目標の見直しとなる

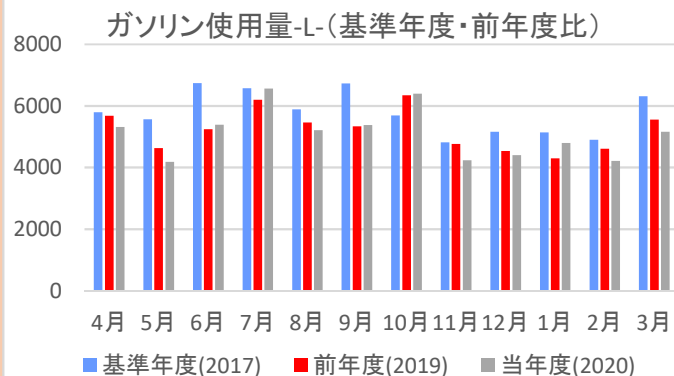


【環境経営目標】ガソリン使用量を削減する。2017年度を基準として、2020年度内に3%削減。

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・エコドライブの啓発	○	取組継続
・エコドライブの教育実施	○	取組継続
・エコドライブの励行	○	取組継続
・自動車の日常点検実施	○	取組継続
・デジタルタコグラフでの運行管理	○	取組継続

取組結果とその評価

- ・適切に取り組んでいます。
- 7月初旬、各車内整理を行い車内重量の削減を図り、燃費の向上につながるよう改善した。12月は担当検査地区ごとに勘案し、順次車輛のスタッドレスタイヤへの交換を実施。エコドライブと暖冬の影響で各車輛燃費が向上している。全体的に、エコドライブの意識が向上しており、検査数が増加しながらガソリン量は減少している。



◆廃棄物削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進

【環境経営目標】一般廃棄物を削減する。2017年度を基準として、**2020年度内に3%削減**。

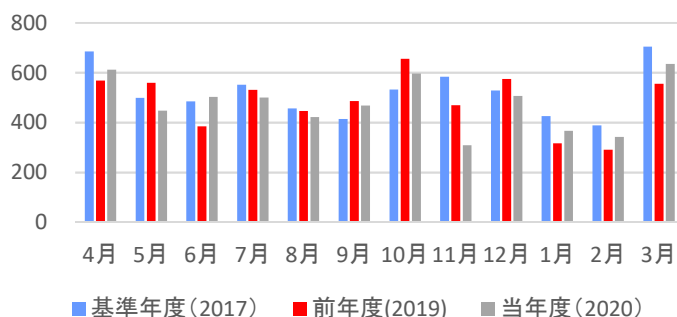
取組計画	達成状況	次年度取組内容
・詰替可能事務用品等の購入	○	取組継続
・印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷	○	取組継続
・パンフ有効期限等、無駄のない発注	○	取組継続
・廃棄時分別。可能なものはリサイクル	○	取組継続
・廃棄物の分別の啓発	○	取組継続
・廃棄物の分別の励行	○	取組継続

取組結果とその評価

・適切に取り組んでいます。

アルミ缶、スチール缶(飲料用)は全て分別後、リサイクル資源としております。総排出量の目標は達成した。

一般廃棄物排出量-kg-(基準年度・前年度比)



◆水資源の節水

【環境経営目標】水使用量を削減する。2017年度を基準として、**2020年度内に3%削減**。

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・節水シール等での節水啓発	○	取組継続
・各部署職員節水の励行	○	取組継続

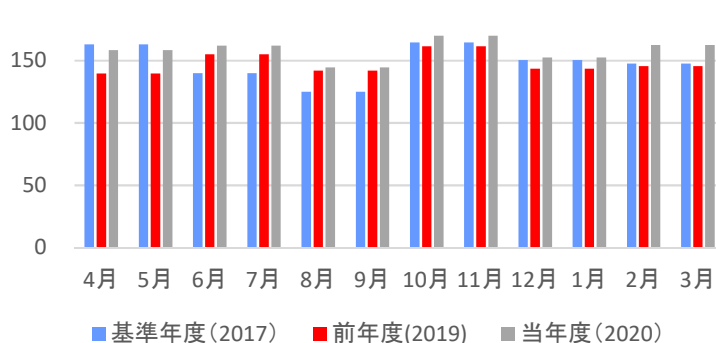
取組結果とその評価

・適切に取り組んでいます。

年度計で見ると、検査数は基準年度と比較して、約5000基増加している。水使用量に関しても約100m³の増加となり、目標を大幅に超えたが、検査数増加に伴う洗浄水の増加や、コロナ禍での手洗い励行を勘案すれば十分な取組み成果といえる。

引き続き節水を啓発・励行する。

水道使用量-m³-(基準年度・前年度比)



◆浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進

環境コミュニケーションの一環として、子供向け啓発事業である環境教室、水の大切さを知ってもらうため夏休みの宿題のポスターコンクール、また、環境保全の意識高揚を図り、イベントや各種ボランティア活動への積極的な参加を行う。これら環境コミュニケーションの取組実施により浄化槽法定検査の受検率向上の推進をはかる。

【環境経営目標】浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進(啓発活動・環境学習等実施)

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・啓発活動・環境学習等実施状況	◎	取組継続

取組結果とその評価

【環境パレード・街頭啓発活動】

今年度はコロナ禍での啓発活動となり、県内4箇所の大型ショッピングセンター等において活動の場を頂いた。社会情勢に配慮し、アンケートの実施については見送りとなったが、浄化槽の適正な維持管理及び、合併浄化槽への転換を働きかける事に関しては手ごたえを感じた。

【CSR・パークアドプト】

例年では、4月には津田六右衛門祭りへの参加、6月にはリフレッシュ瀬戸内(金磯海岸清掃ボランティア活動)を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっている。また、毎年恒例行事であるサイエンスフェア2020は、予定通り11月に行われ、大人から子供まで約300名が参加し、マスクケースの作成を行った。

パークアドプト運動(草刈り)においては、規模を縮小しながらも活動を実施し、地域貢献、社会貢献を実現、地域密着型の団体としてアピール出来ているのではないかと感じられる。

【ポスターコンクール】

未来を担う子どもたちに、水の大切さを知ってもらうため、夏休み課題の「浄化槽の日」のポスターコンクールを開催。令和2年度のコンクールは小学生の部・中学生の部、計101名の応募を頂き、優秀賞、最優秀賞の受賞者(各部それぞれ3点、1点)は徳島県知事より表彰を頂いた。

【環境学習】

令和2年度は、県内小学校計20校での実施となった。新型コロナウイルス対策マニュアルに沿って講じられ、水の大切さや、汚水処理の必要性、目に見えない水の汚れについて、深い関心を持って学んでもらった。

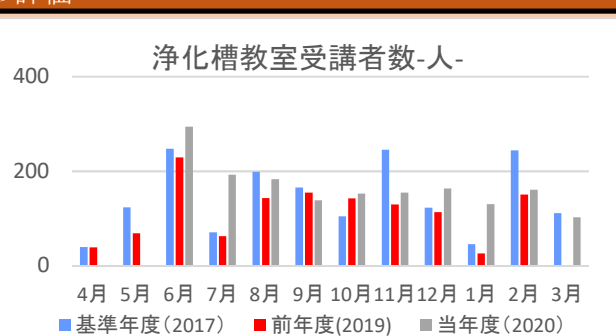
◆県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動

【環境経営目標】県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室における受講率)

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・浄化槽教室の開催状況	◎	取組継続

取組結果とその評価

令和2年度は年間35会場の開催となる。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から令和2年2月～6月の7会場が中止となったが、新しい生活様式に対応し、インターネットでの受講方法が設けられ、各会場に来場出来ない場合でも、浄化槽に関する正しい知識を学んで頂く事を可能とした。インターネットでの受講が可能になった事により、7会場が中止及び申請分母の減少にも関わらず、受講者数は1668名と例年並みの実績となった。



《化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理》

化学物質使用量の適正管理

当事業所の化学物質使用量は、濃度計量証明事業の業務遂行上、公定法に基づく使用量が排出量となるため、削減等が出来ません。環境目標からは除外していますが適正な管理・委託処分に取り組んでおります。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	◎	取組継続
・分析に関わる使用量の管理状況	◎	取組継続

取組結果とその評価

使用頻度は少ないが、使用、管理方法等、適正に取り組んでいます。定期的な教育訓練により、試薬の保存・保管取扱い等についてその重要性について学んでいる。



産業廃棄物排出量の適正管理

当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	◎	取組継続
・適正な処分に関する管理状況	◎	取組継続

取組結果とその評価



産業廃棄物の保管、廃棄依頼から処分までの各工程においても適正に取り組まれております。マニフェスト管理については、データベース化しており、適正に管理されている。

◆各支所での取組み及び取組結果とその評価

【環境経営目標】電力使用に伴う二酸化炭素を削減する。

取組計画	達成状況			
	次年度取組内容			
	徳島	阿南	阿北	美馬
・OA機器の省電力設定	◎	◎	◎	◎
	継続	継続	継続	継続
・照明の不要時消灯	◎	-	-	-
	継続	-	-	-
・クール/ウォームビズの実施	◎	◎	◎	◎
	継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各庁舎のルールに従い、休憩時の消灯、節電に取り組んでいます。
- ・使用しないスペースの消灯を徹底し、電気製品も使用時のみコンセントを差す等、積極的に取り組んでいます。今年度は、感染症対策による常時換気が行われたため、ひざ掛け、カーディガン、冷感マット等によるウォームビズ、クールビズ活動にも積極的に取り組んだ。

【環境経営目標】一般廃棄物を削減する

取組計画	達成状況			
	次年度取組内容			
	徳島	阿南	阿北	美馬
・廃棄物の分別の励行	◎	◎	◎	◎
	継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各支所ともに庁舎のルールに従い、適正に分別、廃棄の取り組みを行えている。
- ・カン・ビン・PET等の分別を徹底し、また、ペーパーレスを心掛け、シュレッダーダストの排出にも留意した。マイボトル持参を年間を通して取り組む事で、飲料水の廃棄物を減らす取り組みも行っている。紙コップの使用も控えるように心がけています。

【環境経営目標】水使用量を削減する

取組計画	達成状況			
	次年度取組内容			
	徳島	阿南	阿北	美馬
・各職員節水の励行	◎	◎	◎	◎
	継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各支所、各庁舎のルールに従い、節水の取り組みが行えている。
(洗い物時はこまめに水道を止めたり、水圧を低めで使用する事など)
- ・トイレ用擬音装置を使用するなどの節水にも取り組んでいる。

1 設置者講習会の開催

浄化槽設置者への啓発活動

新たに浄化槽を設置した方を対象に、「設置者講習会(浄化槽教室)」を開催し、適正な維持管理と設置者の義務などを説明し、使用後の適正な維持管理を周知している。
年度別の受講者数は右のグラフのとおりである。

2年度は新型コロナウイルス対策としてWEBによる浄化槽教室を開始した。
結果、受講者が415名増え、受講者全体の7割がWEBによる受講となった。

設置者講習会

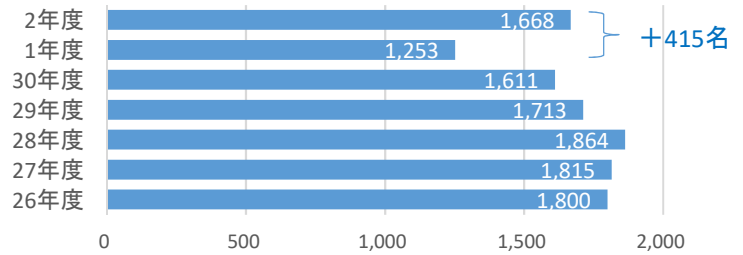
H7年4月にスタートし
本年度で25年目



令和2年度からWEB教室開始

過去7年間の設置者講習会受講者数

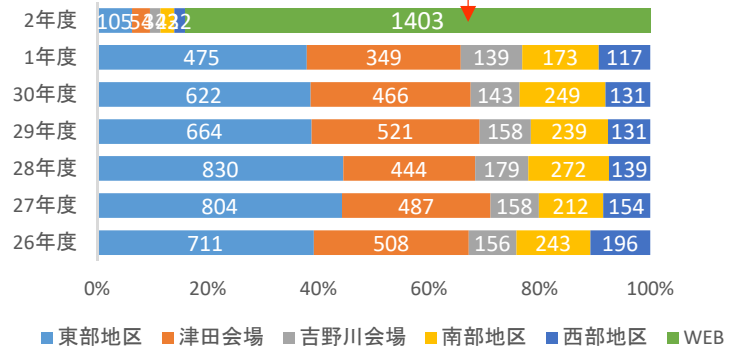
図-1



設置者講習受講場所

WEB教室開始により、受講者が大幅に増えた。

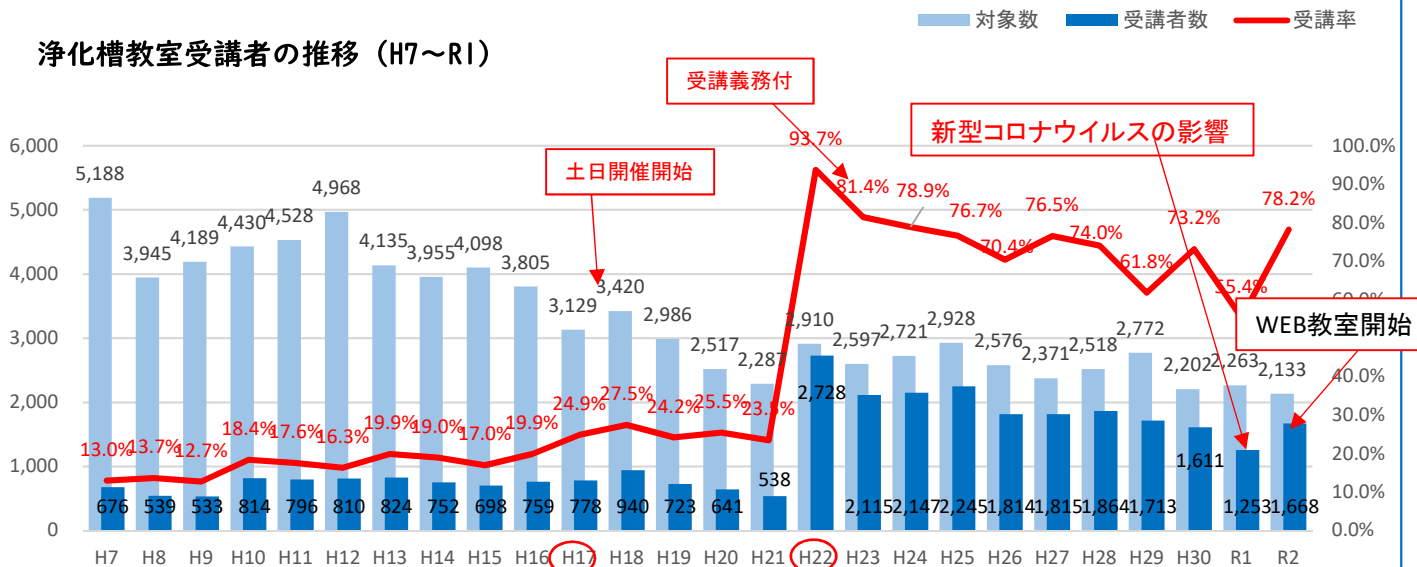
図-2



2 設置者講習会受講者の推移

浄化槽教室は平成7年度に県が策定した「法定検査の受検率向上に関する長期ビジョン」に基づきスタートした。しかし、当初は13%~20%以内の受講率で推移し、平成17年度から教室の開催回数の増加や土日開催などの対策を講じることで、20%~25%に上昇、さらに、平成21年には県浄化槽事務取扱要領により、浄化槽教室の受講を市町村の補助対象の要件とした結果、22年度の受講率は93.7%まで一気に上昇した。県浄化槽事務取扱要領(第2条5項)しかし、令和元年度は新型コロナウイルスの影響で4会場が中止となり受講者数が▲358人と大きく減少した。新型コロナウイルスの影響はしばらく続くことが予想されるため、この対策として令和2年度はWEBによる浄化槽教室を開始した。その結果、受講者が415名増加し受講者の殆どがWEBによる受講だった。

浄化槽教室受講者の推移 (H7~R1)





Ⅰ 設置者講習会の開催

浄化槽設置者への啓発活動



浄化槽を新しく設置される方を対象に、
①浄化槽関係法令
②浄化槽のしくみ
③適正な維持管理、使用方法などを説明する。



2年度開催 全28会場(7会場中止)

新型コロナウイルスの影響で7会場が中止となった。

津田会場2020. 10. 21他

全9回



徳島会場2020. 10. 17他

全4回



鳴門会場2020. 9. 8他

全3回



吉野川会場2020. 8. 25他

全3回



阿南会場2020. 10. 10他

全3回



海部会場2020. 7. 16他

全2回



美馬会場2020. 7. 2他

全4回

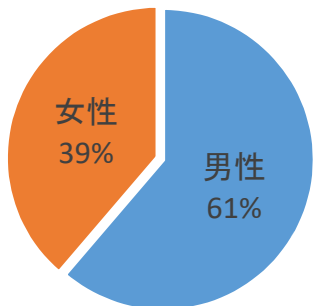


令和元年度浄化槽教室アンケート結果

回答者合計 ⇒ 265人 ※回答無しは除く

浄化槽教室の受講者に対して、アンケートを実施した結果をグラフで示す。回答欄が空白のものは除き、回答者265人の回答を集計した。

①性別は？

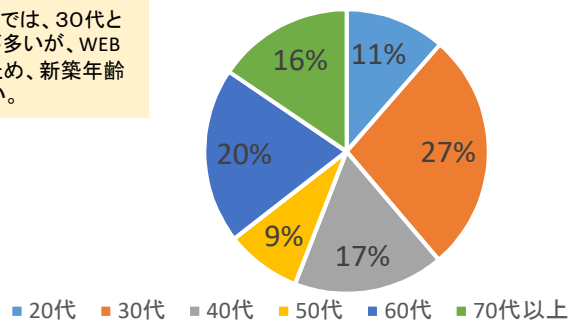


受講者の60%が男性

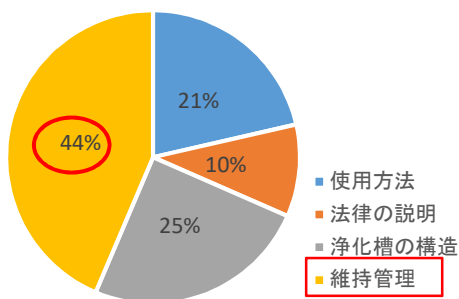
②年齢は？

国交省資料
マイホーム購入平均年齢38.5歳

アンケートの結果では、30代と60代の受講者が多いが、WEB教室を開始したため、新築年齢の把握はできない。

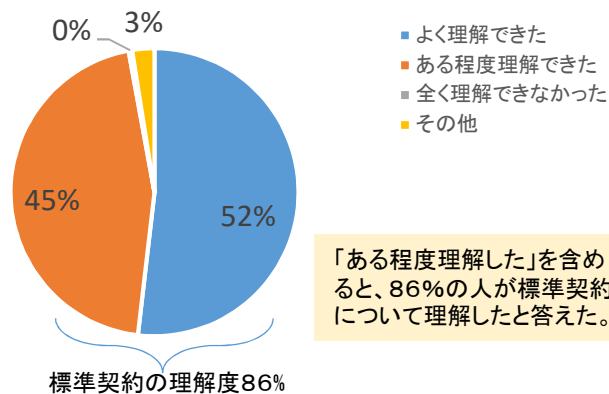


③興味深かった講義内容は？



特に興味深い内容に維持管理と答えた人は44%で最も多かった。

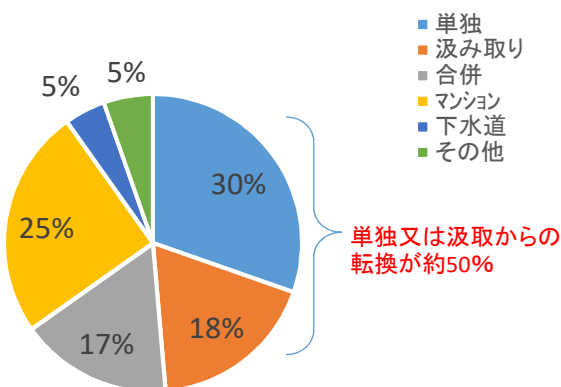
④標準契約について理解できましたか？



「ある程度理解した」を含めると、86%の人が標準契約について理解したと答えた。

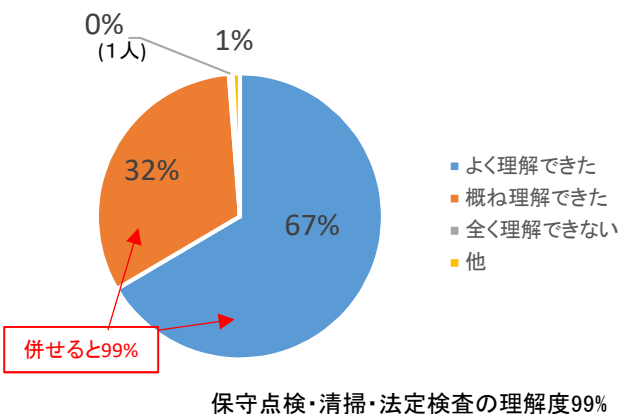
標準契約の理解度86%

⑤新設前のトイレの種類は？



単独又は汲み取りからの転換が約50%

⑥維持管理が大切なことを理解できたか？



併せると99%

保守点検・清掃・法定検査の理解度99%

新築前のトイレの種類の問題では、単独＋汲み取りからの転換が、50%になっている。また、浄化槽教室の目的である「維持管理について理解できたか」の問題に対しては、概ね理解できたと答えた人を併せると99%の人が理解したと答えているため、浄化槽教室の効果は大きいと考える。

環境保全活動

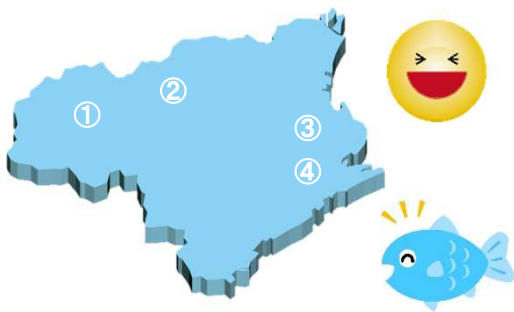
2 年 度 環 境 イ ベ ン ト

浄化槽月間の啓発活動

<開催日時>

- ①10月21日 マルナカ三加茂店
- ②10月21日 マルナカ脇町店
- ③10月23日 フジグラン阿南
- ④10月23日 ハローズ江田店

浄化槽月間に県下4地域で浄化槽の適正な維持管理及び合併浄化槽への転換を働きかけた。



「浄化槽の日」ポスターコンクール



ポスターコンクールを通じて、次世代の子ども達に水の大切さ・浄化槽の役割を知ってもらう目的で実施した。

優秀作品 表彰式
R2.11.26



優秀作品展示
R3.1.25~2.5



県庁1Fロビー

環境保全活動

令和2年度 優秀作品

「浄化槽の日」ポスターコンクール作品

将来を担う子ども達の意識改革を目的に、平成16年度にスタートし、今年度が18回目となる。



最優秀賞



藍住南小学校
近藤 心実(5年)

最優秀賞



三加茂中学校
田岡 静佳(1年)



優秀賞



神宅小学校 小谷 優維(5年)

優秀賞



新町小学校 和田 実結(2年)

優秀賞



川島小学校
尾池 大騎(1年)

優秀賞



優秀賞



山川中学校 登尾 新菜(1年)

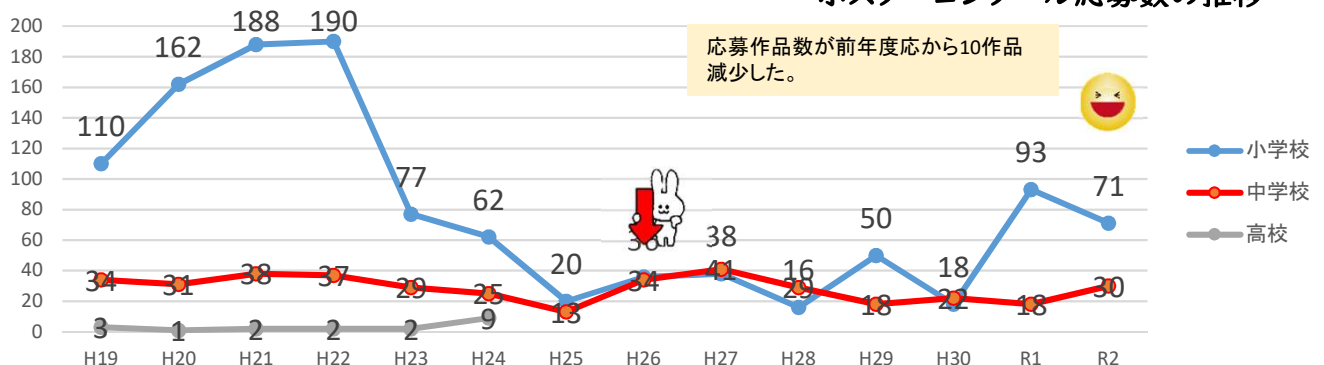
優秀賞



山川中学校 佐藤 正理(2年)

城ノ内中等教育 上藤 幸歩(1年)

ポスターコンクール応募数の推移





2年度 環境学習

積極的なPR活動の成果で5校324名増

令和2年度の環境学習は、県内計20校(前年度25校)、計641名(昨年度855名)の生徒を対象に実施した。
(昨年度比▲214名)

講座内容は昨年度に引き続き、市町村担当者の「水が家庭に届くまで」、県・水環境課の「水のはなし」の座学及び、センターの水質実験を行った。

環境学習の詳細は下記のとおり

令和2年度環境学習の実績



6/24 鷺敷小学校	7/27 岩倉小学校	9/18 藍畑小学校
6/29 横見小学校	7/30 板野南小学校	9/28 高越小学校
6/30 津乃峰小学校	8/3 穴喰小学校	
7/1 八万南小学校	8/4 吾橋小学校	
7/6 川内南小学校	8/5 新野小学校	
7/9 久勝小学校	8/25 加茂名小学校	
7/13 王地小学校	8/28 穴吹小学校	
7/17 池田小学校	9/1 松島小学校	
7/21 宝田小学校	9/8 上八万小学校	



講座メニュー

1.座学

- 水の話・・・水・環境課
- 水が家庭へ届く迄・・・市町村

2.水質浄化実験

- 身近な汚れ測定・・・センター
- 水質浄化実験・・・センター

生物処理と膜分離で水の浄化実験を行いました。

- ①干潟のモデルとして、アサリを用いた生物による浄化の様子を観察。
- ②次に汚れた水を膜フィルターを使って浄化実験を体験する。

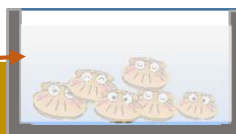
生物による浄化実験

アサリによる水質浄化



濁った水

アサリの浄化実験
before



60分後

アサリが汚れた水をきれいにしてくれます。

アサリの浄化実験
after



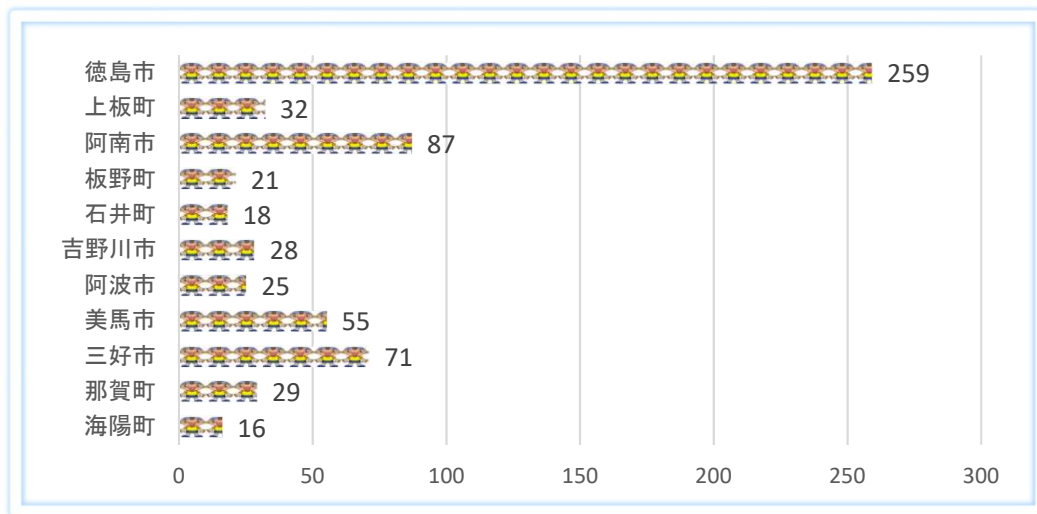
きれいな水





令和2年度 環境学習開催状況

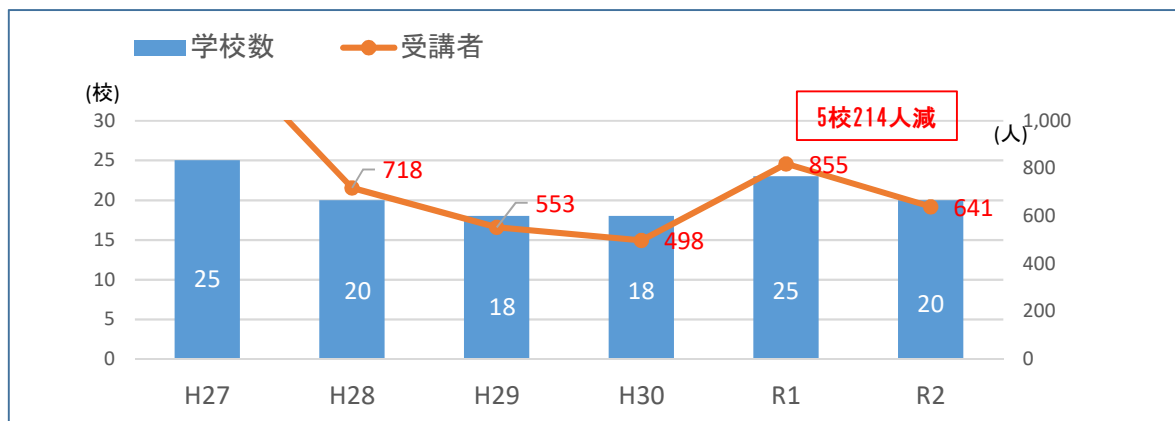
市町村別環境学習受講者数



令和2年度 環境学習開催状況

市町村名	数開催学校	対象	参加者
徳島市	4校	4年生	259名
上板町	2校	4年生	32名
阿南市	4校	4年生	87名
板野町	1校	4年生	21名
石井町	1校	4年生	18名
吉野川市	1校	4年生	28名
阿波市	1校	4年生	25名
美馬市	2校	4年生	55名
三好市	3校	4年生	71名
那賀町	1校	4年生	29名
海陽町	1校	4年生	16名
合計	20校		641名

過去6年間の環境学習開催の推移



平成2年度は、新型コロナウイルスの影響で、環境学習開催の依頼が減少した。開催に当たっては、マスク、消毒等、新型コロナウイルス対策マニュアルに沿った対策を講じ、全20回の環境学習を実施することができたが、開催校は、昨年度マイナス5校、総受講者数はマイナス214人減となった。



6月

(1) 6月24日 那賀町立 鷺敷小学校

対象:4年生 29名
講師:幸泉
助手:吉田、曾我部

学習内容
座学・水質浄化実験



(2) 6月29日 阿南市立 横見小学校

対象:4年生 16名
講師:吉田
助手:幸泉

学習内容
座学・水質浄化実験



(3) 6月30日 阿南市立 津乃峰小学校

対象:4年生23名
講師:幸泉
助手:吉田・濱口

学習内容
座学・水質浄化実験



7月

(4) 7月1日 徳島市立 八万南小学校

対象:4年生 107名
講師:幸泉、吉田、濱口
助手:藍原・曾我部

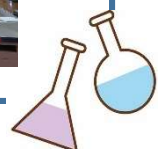
学習内容
座学・水質浄化実験



(5) 7月 6日 徳島市立 川内南小学校

対象:4年生 37名
講師:幸泉
助手:吉田・曾我部、藍原

学習内容
座学・水質浄化実験





7月

(6) 7月 9日 阿波市立 久勝小学校

対象:4年生 25名
講師:吉田
助手:幸泉・小泉



学習内容
座学・水質浄化実験

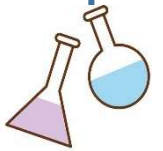


(7) 7月13日 三好市立 王地小学校

対象:4年生 9名
講師:吉田
助手:曾我部



学習内容
座学・水質浄化実験

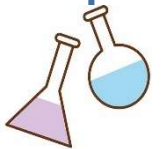


(8) 7月17日 三好市立 池田小学校

対象:4年生 59名
講師:幸泉、吉田
助手:曾我部



学習内容
座学・水質浄化実験

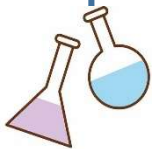


(9) 7月21日 阿南市立 宝田小学校

対象:4年生 31名
講師:吉田
助手:濱口・曾我部



学習内容
座学・水質浄化実験

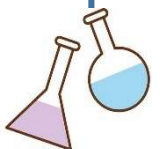


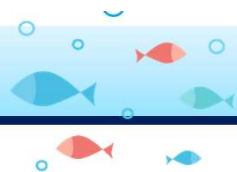
(10) 7月27日 美馬市立 岩倉小学校

対象:4年生 28名
講師:吉田
助手:濱口、曾我部



学習内容
座学・水質浄化実験

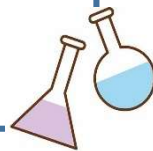




(11) 7月30日 板野町立 板野南小学校

対象:4年生 21名
講師:吉田
助手:幸泉・曾我部

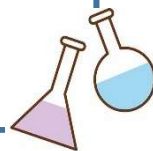
学習内容
座学・水質浄化実験



(12) 8月 3日 海陽町立 穴喰小学校

対象:4年生 16名
講師:吉田
助手:濱口

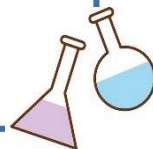
学習内容
座学・水質浄化実験



(13) 8月 4日 三好市立 吾橋小学校

対象:4・5・6年生 3名
講師:吉田
助手:曾我部

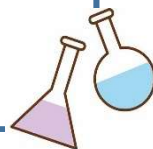
学習内容
座学・水質浄化実験



(14) 8月 5日 阿南市立 新野小学校

対象:4年生 17名
講師:吉田
助手:幸泉

学習内容
座学・水質浄化実験



(15) 8月25日 徳島市立 加茂名小学校

対象:4年生 69名
講師:吉田
助手:濱口、曾我部、五孝

学習内容
座学・水質浄化実験

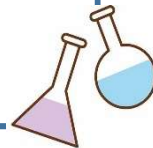




(16) 8月28日 美馬市立 穴吹小学校

対象:4年生 27名
講師:吉田
助手:曾我部、五孝

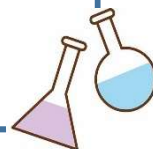
学習内容
座学・水質浄化実験



(17) 9月 1日 上板町立 松島小学校

対象:4年生 32名
講師:吉田
助手:曾我部、五孝

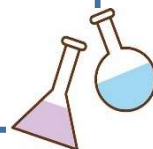
学習内容
座学・水質浄化実験



(18) 9月 8日 徳島市立 上八万小学校

対象:4年生 46名
講師:吉田
助手:曾我部・幸泉

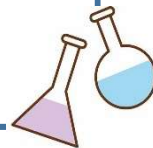
学習内容
座学・水質浄化実験



(19) 9月18日 石井町立 藍畑小学校

対象:4年生 18名
講師:吉田
助手:曾我部

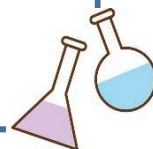
学習内容
座学・水質浄化実験

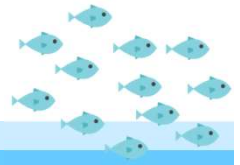


(20) 9月28日 吉野川市立 高越小学校

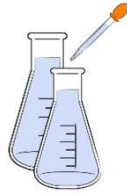
対象:4年生 28名
講師:吉田
助手:幸泉・曾我部

学習内容
座学・水質浄化実験



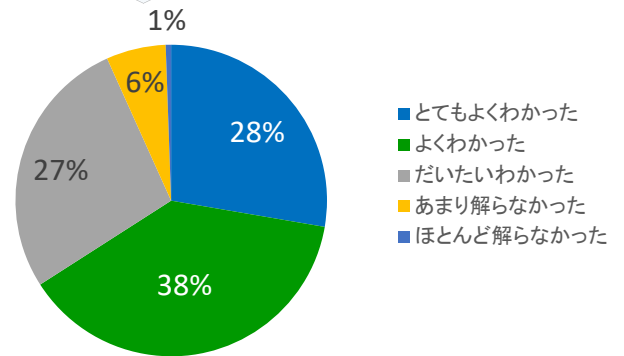
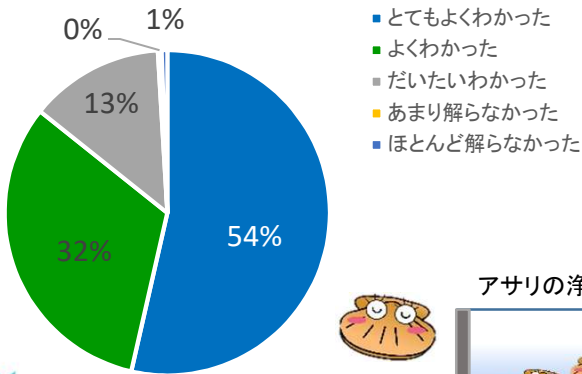


アンケート結果

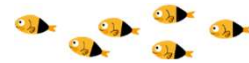


私たちが使う水の量について

汚水処理の種類について

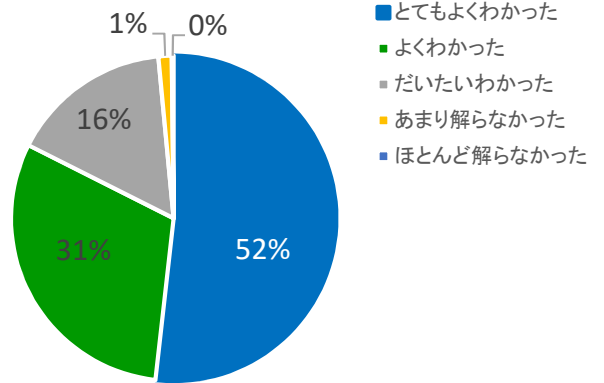
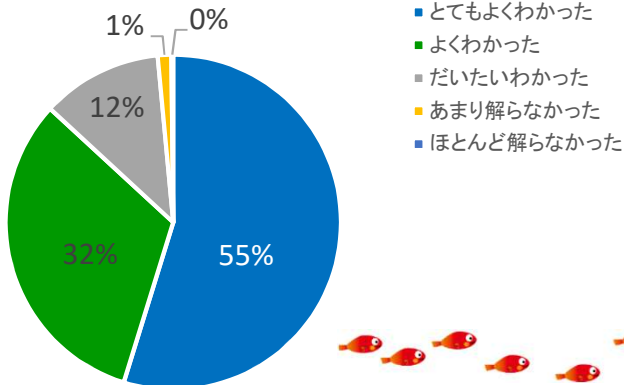


アサリの浄化実験

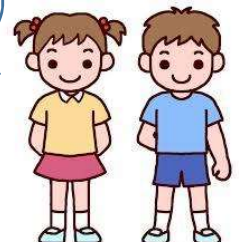
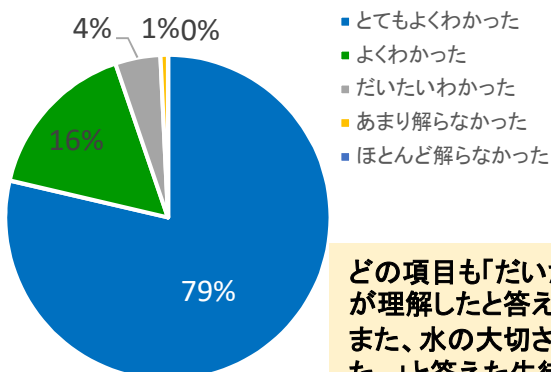


ふだんの生活でできること

汚水がきれいになるしくみについて



水の大切さについて



どの項目も「だいたい解った」を含めると80%~90%の生徒が理解したと答えている。
また、水の大切さについては「とてもよくわかった。よくわかった。」と答えた生徒が95%であり、この事業の一定の成果が見られる

環境出前講座

小学校以外の出前講座

対象団体名	開催日	参加者		
①水鉄砲で花に水を	令和2年 8月 2日	47名	水鉄砲で花に水やり	金澤・小泉・吉田・濱口
②サイエンスフェア	令和2年11月7・8日	300名	マスクケースを作ろう	みずすまし隊8人
③エコみらい	令和2年11月28日		牛乳パックでカレンダーづくり	濱口・吉田・長崎・五孝

R2/8/2 水鉄砲で花に水を！

R2/11/7-8 マスクケースを作ろう

竹の水鉄砲で花に水をやりました。

あすたむらんど徳島

池の水を再利用！



クリアファイルが大変身 マスクケースを作ろう



R2/11/28 牛乳パックを使ってアドベントカレンダーを作ろう

エコみらいとくしま



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、第26回六右衛門まつり、地球環境を守る日フェスティバル「あすたむらんど徳島」の環境月間イベント、海岸生物調査、阿南市子供フェスティバル、活竹祭が開催中止となりました。



環境保全活動 & CSR活動

金磯海岸の水質検査を実施



津田公園の清掃活動を実施しました。



5/29 , 7/22 , 11/27 , 2/12 の4回実施

浄化槽啓発活動



◆ 主な環境負荷の実績と当年度の環境経営目標達成状況

(評価運用期間：2020/04/01～2021/03/31)

年度(基準2017年度)		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
※ 延べ床面積	m ²	1,348	1,348	1,348	1,348
職員数	人	77	75	74	74
温室効果ガス排出量	kg-CO ₂	327,090	310,911	320,175	314,398
電気使用量	kWh	300,279	305,014	348,581	343,757
ガス使用量	kg	184.9	212.0	165.8	133.5
ガソリン使用量	ℓ	69,278	67,955	62,622	61,214
水道使用量	m ³	1,781	1,789	1,774	1,900
総排水量	m ³	1,803	1,811	1,796	1,923
一般廃棄物排出量	t	6.26	5.78	5.66	5.50
産業廃棄物排出量	t	0.15	0.17	0.29	0.25

※延べ床面積は環境負荷の計測が可能な検査センターのみの面積となります(駐車場スペース除く)。

◆ 当年度目標達成状況

《定量的項目》

(評価運用期間：2020/04/01～2021/03/31)

環境経営目標		目標値	実績値	達成率	判定
二酸化炭素を削減する	kg-CO ₂	317,277	314,398	100.9%	○
電気使用量を削減する	kWh	291,271	343,757	84.7%	×
ガソリン使用量を削減する	L	67,199	61,214	109.8%	○
一般廃棄物を削減する	kg	6,068	5,499	110.3%	◎
水使用量を削減する	m ³	1,728	1,900	90.9%	△

《定性的項目》

(評価運用期間：2020/04/01～2021/03/31)

法定検査受検推進のための各種環境活動	50回	36回	72.0%	×
県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室受講率)	65.5%	66.3%	101.0%	○

達成率凡例	～ 90 %	×	100 ～ 110 %	○
	90 ～ 100 %	△	110 ～ %	◎

◆ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無

◆ 適用される主な環境関連法規制

- ・浄化槽法
- ・水質汚濁防止法
- ・計量法
- ・廃棄物処理法
- ・道路交通法
- ・フロン排出抑制法
- ・徳島県浄化槽取扱要綱
- ・グリーン購入法
- ・化管法/PRTR法

遵守評価日 2021年06月01日

当センターに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

◆ 代表者による全体の評価と見直し

実施概要

評価実施日	2021年09月13日
評価期間	2020年04月01日～2021年03月31日
実施場所	(公社)徳島県環境技術センター
出席者	環境管理統括責任者、環境管理責任者、EA21事務局
資料・記録	エコアクション21 環境関連 《文書と記録》

実施内容

項目	代表者の指示事項（変更の必要性）
環境経営方針	<ul style="list-style-type: none">・変更の必要はありません。・引続き全職員が一丸となり活動を行う事。
環境経営目標及び環境経営計画	<ul style="list-style-type: none">・環境負荷の削減に向けてより適切な対応に努め、定期的に夕礼等で予防処置など呼びかける事。
その他（EMS全体）	<ul style="list-style-type: none">・基準年度を2020年度として新たな中期目標を設定

総括（全体評価）

今年で7年目の取り組みとなるエコアクション21だが、この環境活動を通じながら、年を重ねるごとに職員の「環境への意識」や「環境負荷に対する考え方」が向上し、積極的且つ自発的に取り組むようになってきた。

2020年は、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響によって、センターが計画した事業の自粛や中止を余儀なくされ、併せてエコアクション21の環境活動についても感染症の拡大予防を念頭に置きながら行動しなければならない1年となった。そのような状況下ではあったが、80名の職員一人ひとりが、環境関連法規を遵守しながら自発的に環境活動を実践してきた結果が数値として現れ、多くの項目に対し環境負荷を削減することができた。実績上は目標を達成できなかった項目もあるが、使用機器の入れ替えや業務量の増加が大きな要因であると推測されることから、今後は、該当項目の基準を見直し、改めて目標に向けた取り組みを計画していく。

2021年度も引き続き、掲げた環境活動に積極的に取り組み、センター職員が一丸となって環境負荷の削減を目指していきたい。

